

## スピーチコンテスト

代表者 馬嶋 珠衣

企画概要 英語スピーチコンテストが行われる7月9日、日本語スピーチコンテストが行われる7月16日にレセプションを実施し、交流や親睦を図る。

結果報告 開催日 7月9日(水)、7月16日(水)

場 所 スピーチコンテスト...京都産業大学12号館

レセプション ラウンジふるさと

来客数 英語スピーチコンテスト...約80人

レセプション...約40人

日本語スピーチコンテスト...約60人

レセプション...約40人

実施内容 英語・日本語の両スピーチコンテストの運営、PRの他に独自のレセプションを実施し、観客も含めた参加者全員の交流や親睦をはかる。

スピーチコンテストの運営 会場設営

日本語スピーチコンテストでの司会

PR ポスター作り、掲示(各学部掲示板、図書館、バス停など)

レセプション 表彰式を兼ねた立食パーティーの進行

- ・ 会場設営
- ・ 司会
- ・ 出場者全員のスピーチ内容の紹介とインタビュー
- ・ 表彰式補助など

<レセプションの進行>

英語スピーチコンテストのレセプション

矢放先生による乾杯のあいさつ

インタビュータイム(事前に実行委員が考えた質問をする。) 参加賞授与



ジャッジからの好評



結果発表

表彰式

一週間後行われる日本語スピーチコンテストのPRと参加者紹介

日本語スピーチコンテストのレセプション

乾杯の挨拶

インタビュータイム（事前に実行委員が考えた質問をする。） 参加賞授与  
ジャッジからの好評  
結果発表  
表彰式  
実行委員より一言ずつ



感想 私は今、国際交流会館に住んでいます。学内の国際交流をもっと活性化したいという希望から入寮を応募しました。体育会のクラブに所属しているため、放課後や休日に留学生とどこかに行ったりはほとんど出来ませんでした。寮に住んでいるおかげで留学生の宿題を手伝ったり、晩御飯をご馳走しあったり、週末に Bar で語り合ったりと個人的な交流は出来る限りしたつもりでしたが、学内の国際交流に関しては異文化コミュニケーションクラブや昨年の日本人寮生によりたよりがちになり、入寮時の目標を達成させるには至っていませんでした。そんな時この企画と出会いました。そして、多かれ少なかれ私と同じような気持ちを持っていた5人の寮生と協力していくことになりました。スピーチコンテストという大学挙げての企画を出場者と同じ私たち学生が盛り上げることにより、今までよりも規模の大きい、また、よりアカデミックな国際交流が出来ることは確かだったので、なんとか成功させたいと思いました。

とは言え、本学でのスピーチコンテストは今回が初めてだったので、何からしていいのかわからないというのが最初は本音でした。そこで、成功させるために必要なことは何なのかを皆で考えました。スピーチコンテストを国際交流与結びつけるためには、スピーカーだけでなくオーディエンスも楽しめるイベントにすること、また観客を多くよぶことによる交流の拡大をあげました。観客の数はスピーカーのやりがいにも比例すると考えられたので、特にPRには力を入れました。こうして企画を進めていく中、スピーチコンテストにむけてスピーチの作成、暗記、表現練習に日夜励む出場者の努力を見かける機会が何度もあり、その度に絶対このイベントを成功させてあげたい！！とさらに強く思うようになりました。レセプションでは、インタビュータイムの中でスピーチの概要を説明した後、スピーチの内容や、コンテスト当日に至るまでのことなどを質問し、最後にオーディエンスの感想や質問を聞くことによって、会場全体でもう一度各スピーチを振り返りました。コンテストでは言い切れなかった思いや、スピーチのコツなど興味深いものが多かったです。しかし何より、表彰式で入選者を発表することによって、優劣が決められてしましますが、どうしてもその前に出場者全員の努力を称えたいと思いこの時間を設けました。

今回が第一回目のスピーチコンテストだったので上記の来客数が多いか少ないかは、分か

りませんが、私たちの踏んだ第一歩をきっかけに来年以降、このスピーチコンテストがより大きなイベントになり、国際交流促進につながることを心より願っています。

最後になりましたが、私たちの企画を採用して頂き、本当にありがとうございました。